

別紙4: 審査基準

審査項目			評価の視点	配点	優れている		標準	劣っている	
					A	B	C	D	E
1	イベント詳細			96					
	(1)	イベントテーマ、目標	・東京ならではのイベントであり、多彩な食の魅力を発信するイベントとなっているか ・グローバルな評価が期待できる内容となっているか ・目標は適切か ・目標が達成できそうなイベントになっているか ・前回イベントよりも賑わいを生み出す内容か	8	8	5	3	1	0
	(2)	イベント内容		88					
	①	料理販売ブース、調理実演ショー	・出店者を確保できるか（手法・スケジュール・実績等） ・出店者の想定は適切か（料理ジャンルのバランス、東京ならではの店舗や東京でしか味わえない店舗等） ・国内の来場者だけでなく、インパウンドの集客につながる出店者か ・実演ショーは食の魅力を伝える内容となっているか、集客が見込めるか、そのためにLEDパネル（ビジョン）を有効に活用できているか	20	20	13	7	1	0
	②	物販、食文化ワークショップ、ステージコンテンツ、ヘブンアーティスト、子ども向け体験企画、ナイトタイムコンテンツ、オープニングセレモニー、都施策紹介ブース、その他の提案企画	・実際に、出店及び実施が見込めるか（手法・スケジュール・実績等） ・イベント当日の賑わいを生み出す出店内容か ・集客につながる内容か ・親子で楽しめる内容が含まれているか	16	16	11	6	1	0
	③	東京産のお酒等の販売に関する企画	・お酒を確保できるのか（手法・スケジュール・実績等） ・想定しているお酒や企画は集客につながる内容か ・単なる販売でなく、楽しく食文化を知る内容の企画か	8	8	5	3	1	0
	④	インパウンド向けの企画	・インパウンドの集客につながる内容か ・今後のTTDMの来場につながる内容か ・国内来場者も楽しめる内容か	20	20	13	7	1	0
	⑤	SusHi Tech Tokyo2027と連携した企画	・SusHi Tech Tokyo出店者や参加者（ビジネスデイ及びパブリックデイ）が、TTDMとの関連性を意識してTTDMへ来場する内容となっているか ・TTDM会場で実施する内容がSusHi Tech Tokyo側にもメリットとなる内容で提案できているか。	8	8	5	3	1	0
	⑥	江戸時代の甘味に関する企画	・江戸と（、伝統と革新が共存する現代の）東京という観点を踏まえたコンセプトとなっているか。 ・（江戸及び）東京ならではの内容となっているか。 ・イベント当日の賑わいを生み出す内容か ・集客につながる内容か	16	16	11	6	1	0
2	会場装飾			24					
	(1)	キービジュアル、フォトスポット、全体装飾	・イベントテーマを踏まえたビジュアル（デザイン）か ・来場（予定）者の目を引くビジュアルか ・イベント当日の賑わいを生み出す装飾か（第三者への拡散が見込めるか）	16	16	11	6	1	0
	(2)	会場レイアウト、サイン、看板、MAP等	・座席数は適切か。様々な配慮がみられるか。 ・レイアウトは回遊性を促すものとなっているか。賑わいの偏りを防止する内容となっているか。デッドスペースが多く存在しないか。 ・駅や周辺施設からの来場を想定した動線が確保できているか。 ・東京ビッグサイト側から本イベントが認知でき、かつ、来場意欲を高める内容内容となっているか。 ・実店舗へ誘導する看板は、来場者の目を引く内容か。実店舗に興味を持つような内容か。	8	8	5	3	1	0
3	会場設備			20					
	(1)	ユニットハウス	・法令等の手続きについて事前相談や申請先、申請すべき内容を適切に把握しているか（有資格者等の配置、過去の申請実績等）。 ・適切な状況想定で、防風対策は行われているか。 ・24時間通電や水道利用について、仮設で対応する場合は想定する給油や給水のタイミング、手段等の想定は適切か（イベント営業に支障はないか）。 ・想定する調理機器を設置したうえで、十分な調理スペースを確保できているか（同時にUH内で何人が活動できるか、UH内ですれ違うスペースはあるのか等）	12	12	8	4	1	0
	(2)	その他設置物（テント、救護所、インフォメーション、子ども向け設備、ごみ捨て場、手洗い場、仮設トイレ等）	・法令等の手続きについて事前相談や申請先、申請すべき内容を適切に把握しているか（ごみの収集運搬・処分の依頼先や処理状況の確認は適切に行える体制か、仮設トイレの2連棟式を設置するのであれば建築確認申請などのために有資格者を配置しているか等）。 ・設置物と想定する利用者や機能は適切か（テント内に出店者のスペースが十分に確保できるか、テントを訪れた来場者はテントの中（屋根あり）でやり取りができるのか、救護所に対応する内容の想定と必要な資材を揃えているか、インフォメーションで同時に対応できる人数の想定とそのオペレーションは適切か、ファミリー優先席の総定数と利用方法の想定は適切か）	8	8	5	3	1	0
4	広報			28					
	(1)	広報計画・広報制作物	・広報計画の内容は実施可能か（手法、スケジュール、実績等） ・発信効果及び第三者への拡散は見込めるか ・メディアツアアの想定は適切か（対応体制、実績等） ・広報制作物（ポスター、チラシ、パンフレット等）の掲載先、配布先及びスケジュールの想定は適切か。 ・イベント当日の集客が見込めるか（特にインパウンド）。そのための工夫は行っているか。	20	20	13	7	1	0
	(2)	イベント終了後の広報	・動画を撮影する体制は適切か ・作成した動画等を活用する、イベント後のPR手法の想定は、適切か。	8	8	5	3	1	0
5	WEBサイト等の運営			10	10	7	4	1	0
6	効果測定等			12	12	8	4	1	0
7	事業執行体制等			10	10	7	4	1	0
			・各種運用体制や運用スタッフの配置は適切か。 ・ユーザーフレンドリーな運用が可能か。						
			・来場者カウント方法は適切か ・KPI設定した項目以外の設定項目は、今後のTTDM開催にあたって有益か。 ・アンケート実施体制や手法は適切か ・出店者の売上等の把握方法は適切か						
			・安全な運営や、衛生管理が徹底できる体制か（責任者設定の有無や、実績等） ・多様な来場者に配慮した運営が出来る体制か ・契約期間終了後の引継ぎを想定した体制ととなっているか ・想定する実行委員会のサポート体制は適切か ・スケジュール通りの業務遂行が可能か						